

## 外科

### 1. 外科の理念・特色

豊岡市をはじめとする但馬地域の基幹病院として、消化器癌、乳癌などの癌に対する手術と術後の集学的治療を中心に診療を行っている。胆嚢胆管結石、各種ヘルニアその他の良性疾患の待機的手術を実施しているほか、緊急手術としては、外科通院患者が対象の緊急手術、院内及び院外からの直接外科の紹介された患者の緊急手術に特化して行っている。

最近は消化器癌に対しては、適応に応じて腹腔鏡下で手術を行うようにしており、現在、胃癌や結腸・直腸癌に対しては積極的に腹腔鏡下手術を行っている。

手術後の癌化学療法、フォローアップも外科で行っており、化学療法の大多数は科学療法専任看護師が従事する化学療法室で外科科学療法として行っている。

外科の外来診察は基本的に3診制で行っている。

なお、豊岡病院では、従来外科が担当してきた外科対象疾患の緊急手術の多くは救急集中治療科が行っているほか、胃癌、大腸癌で内視鏡的に切除が可能な早期癌については、消化器科が担当している。

### 2. 目標・プログラム

#### ア. 目標とする医師像

専攻医が医師として必要な基本的診療能力と外科領域の専門的診療能力を習得することを目標とする。併せて外科医として知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となることを目指す。このために、外科領域全般からサブスペシャリティ領域(消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科)またはそれに準じた外科専門領域(乳腺や内分泌領域)の専門研修を行い、それぞれの専門医取得へと連動するものとする。

#### イ. 経験できる診療、技術

担当する分野:

##### 食道癌

ガイドラインに従い、stage I の症例に対してはそのまま手術、stage II, III の症例に対しては術前化学療法(NAC)の後、症例によっては胸腔鏡を併用した根治術を行っている。また、切除不能症例には化学療法や化学放射線療法を行っている。

##### 胃癌

ガイドラインに従い T2、N1 までは腹腔鏡下の手術を導入している。また、早期胃癌には機能温存手術を積極的に行っている。一方、予後不良と考えられる高度進行胃癌を対象として、臨床試験として術前化学療法(NAC)を施行した後、手術を行っている。術後は、補助化学療法を stage II, III を対象に施行し、再発症例に対しても積極的に全身化学療法を導入している。

##### 大腸癌

大腸癌には D3 廓清をともなう腹腔鏡下手術を標準治療としている。一方で、局所進行直腸癌に対しては他臓器合併切除を含めた拡大手術を行い、術後化学療法を用いて予後の向上を図っている。下部直腸癌症例に対しては側方リンパ節廓清を定型的に行っている。

術後はエビデンスに基づいた補助化学療法に加え、進行・再発大腸癌に対しては最新の分子標的薬を併用した全身化学療法を標準治療として施行している。また切除可能な肺・肝転移に対しては積極的に手術を施行し、良好な治療成績を得ている。

### 肝癌

術前診断から治療まで消化器科と合同で治療戦略を立て、部位や個数、患者さんの肝予備能とのバランスから手術適応・術式を決定している。また、最近増加傾向にある転移性肝癌に対しては積極的に手術を施行し、良好な治療成績を得ている。

### 膵臓癌

膵頭部癌、十二指腸癌・乳頭部癌、下部胆管癌に対して定型的な膵頭十二指腸切除術を、膵尾部癌に対しては膵体尾部切除を施行しており、出血量の少ない安全な術式を確立している。

### 急性胆嚢炎

発症早期の症例には手術を原則としており、可能な限り腹腔鏡による手術を行っている。

一方、重症例にはドレナージを施術後、待機的に手術を行っている。

### 鼠径ヘルニア

症例に応じて腰椎あるいは膨潤麻酔下に Lichtenstein 法を、全身麻酔下に腹腔鏡下ヘルニア手術を行っている。

## 3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
早朝	総回診		カンファレンス	総回診		休日 (病棟当番) (病院日当直) (講習会) (学会)
午前	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	
午後	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	
時間外	術前・術後 カンファレンス					

※外科の外来診療は3室で行っている。1診が初診外来で初診対応とその後の定期的経過観察、2～3診は術後のフォローアップ外来を行っている。

#### 4. 指導医・スタッフ

医師名	記井 英治 / KII, Eiji / S51 卒
役職名	顧問(嘱託医)
専門	消化器外科、一般外科
認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 一般社団法人 日本外科学会 外科指導医</li> <li>• 一般社団法人 日本消化器外科学会 消化器外科指導医</li> <li>• 麻酔科標榜医</li> <li>• 特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医師</li> </ul>

医師名	坪野 充彦 / TSUBONO, Michihiko / S57 卒
役職名	副院長 兼 部長
専門	消化器外科、癌化学療法、内視鏡外科
認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 一般社団法人 日本外科学会 外科指導医・専門医</li> <li>• 一般社団法人 日本消化器外科学会 消化器外科指導医</li> <li>• 一般社団法人 日本消化器外科学会 消化器がん治療認定医</li> <li>• 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 暫定指導医</li> <li>• 一般社団法人 日本がん治療認定機構 暫定教育医</li> <li>• 一般社団法人 日本がん治療認定機構 がん治療認定医</li> </ul>

医師名	内田 茂樹 / UCHIDA, Shigeki / H2 卒
役職名	部長
専門	消化器外科、内視鏡外科
認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 一般社団法人 日本外科学会 専門医</li> <li>• 特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医師</li> </ul>

医師名	遠藤 真一郎 / ENDO, Shinichiro / H9 卒
役職名	医長
専門	消化器外科、一般外科、乳腺外科、内視鏡外科、緩和ケア
認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般社団法人 日本外科学会 外科専門医</li> <li>有限責任中間法人 日本乳癌学会 乳癌認定医</li> <li>特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医師</li> </ul>

医師名	三木 明 / MIKI, Akira / H10 卒
役職名	医長
専門	消化器外科
認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般社団法人 日本外科学会 外科専門医</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 技術認定医</li> </ul>

医師名	杉山 朋大 / SUGIYAMA, Tomohiro / H20 卒
役職名	医長
専門	消化器外科、一般外科
認定	<p>日本外科学会 外科専門医</p> <p>特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構</p> <p>検診マンモグラフィ読影認定医師</p>

医師名	木下 裕光 / KINOSHITA, Hiromitsu / H23 卒
役職名	医員
専門	消化器外科、内視鏡外科
認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般社団法人 日本外科学会 外科専門医</li> </ul>

医師名	福井 由紀子 / FUKUI, Yukiko / H24 卒
役職名	医員
専門	乳腺外科
認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医師</li> <li>乳腺超音波認定医師</li> </ul>

医師名	中村 大地 / NAKAMURA, Daichi / H25 卒
役職名	専攻医
専門	消化器外科
認定	

## 5. 診療設備等



- ・手術支援ロボット「ダヴィンチ」米国インテュイティブ・サージカル社  
(平成 29 年度導入予定)

## 6. 診療実績

手術症例数(1～12月)

	2014 年		2015 年		2016 年	
全手術件数	540		626		572	
全麻手術数	409		454		415	

腹腔鏡下手術数	194		139		208	
緊急手術数	110		85		74	
術式別手術件数		うち 鏡視下 手術		うち 鏡視下 手術		うち 鏡視下 手術
食道癌切除術	1		3	1	4	4
胃切除術	57	47	60	51	46	16
・幽門側胃切除術	31	27	35	31	29	13
・胃全摘術	26	20	25	20	17	3
大腸切除術	92	68	64	45	75	52
・結腸切除術	63	44	51	37	61	43
・直腸切除術	26	24	13	8	14	9
肝切除術	6		1		7	
膵頭十二指腸切除術	1		1		5	
乳癌手術	42		84		86	3
胆嚢摘出術	63	54	73	50	84	74
脾摘術					1	1
ヘルニア手術	96		151		115	21
虫垂切除術	24	13	14	6	18	15
小児外科手術	18	3	20			
良性肛門疾患手術	37		34		14	

#### NCD登録症例

登録診療科 登録症例	外科	胸部・心臓 血管外科	その他	合計
1 消化管および腹部内臓	534(534)		146(0)	680(534)
2 乳腺	78(78)			78(78)
3 呼吸器		69(49)	30(0)	99(49)
4 心臓・大血管		59(39)	4(0)	63(39)
5 末梢血管(頭蓋内血管を除く)		121(101)	19(0)	140(101)
6 頭頸部・体表・内分泌外科(皮膚,軟部組織,顔面, 唾液腺,甲状腺,上皮小体,性腺,副腎など)			26(0)	26(0)
7 小児外科	24(24)		11(0)	35(24)
8 上記1~7の各分野における内視鏡 手術(腹腔鏡・胸腔鏡を含む)	192(192)	16(16)		216(208)

9 外科領域(上記1~7)合計	636(636)	249(189)	236(0)	216(208)
10 外科専攻医の経験症例とはならないNCD登録症例		26(26)	12(0)	38(26)
11 外科領域(上記9および10)	828(828)	291(231)	248(0)	1,159(851)

平成27年実績

( )内は兵庫京大外科専門研修プログラムに按配

## 7. 主な業績

### 【学会発表】

当院における進行食道胃接合部癌に対する下縦隔郭清

公立豊岡病院 外科

三木 明

第115回日本外科学会

平成27年4月16~18日 於:名古屋市

Stewart-Treves 症候群の1例

公立豊岡病院 外科

水田 誠

第23回日本乳がん学会

平成27年7月1~4日 於:東京都

needle tract seeding により再発したと考えられる悪性葉状腫瘍の一例

公立豊岡病院 外科

福井由紀子

第23回日本乳がん学会

平成27年7月1~4日 於:東京都

Total gastrectomy with D2 lymphadenectomy in our hospital

公立豊岡病院 外科

三木 明

第70回日本消化器外科学会

平成27年7月14~18日 於:浜松市

当院における虫垂粘液嚢腫に対する腹腔鏡手術

公立豊岡病院 外科

岡本三智夫

第 77 回日本臨床外科学会

平成 27 年 11 月 25～29 日 於:福岡市

開腹既往が腹腔鏡下胃癌手術に及ぼす影響についての検討

公立豊岡病院 外科

上本裕介

第 77 回日本臨床外科学会

平成 27 年 11 月 25～29 日 於:福岡市

術前 DCS 療法により腹膜播種が消失し肉眼的根治的胃切除が可能となった 1 例

公立豊岡病院 外科

福井由紀子

第 77 回日本臨床外科学会

平成 27 年 11 月 25～29 日 於:福岡市

胃癌に対する腹腔鏡下胃全摘術の後期高齢者(75 歳以上)における安全性

公立豊岡病院 外科

金城洋介

第 28 回日本内視鏡外科学会

平成 27 年 12 月 10～12 日 於:大阪市

## 8. 学会認定施設

- ・日本外科学会専門医修練施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・地域がん連携拠点病院

## 9. 連携するプログラム

- ・兵庫京大外科専門研修プログラム  
基幹施設:神戸市立医療センター中央市民病院  
公立豊岡病院での研修モデル



1年目	2年目	3年目	
	公立豊岡病院(メイン施設)	中央市民病院 (基幹施設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立尼崎総合医療センター</li> <li>・姫路医療センター</li> <li>・西神戸医療センター</li> <li>・神鋼記念病院</li> <li>・神戸市立西市民病院</li> <li>・赤穂市民病院</li> </ul> (連携施設)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立尼崎総合医療センター</li> <li>・姫路医療センター</li> <li>・西神戸医療センター</li> <li>・神鋼記念病院</li> <li>・神戸市立西市民病院</li> <li>・赤穂市民病院</li> </ul> (メイン施設)	中央市民病院 (基幹施設)	公立豊岡病院(連携施設)
	中央市民病院(メイン施設)		公立豊岡病院(連携施設)
サブスペシャリティ研修			

プログラム・資料請求に関する問い合わせ先:

〒650-0047 神戸市中央区港島南町 2 丁目 1-1

神戸市立医療センター中央市民病院庶務課

電 話:078-302-4321

FAX:078-302-7537

Website:[http://chuo.kcho.jp/recruit/late\\_resident/medical](http://chuo.kcho.jp/recruit/late_resident/medical)